

かしこく
やさしく
たくましく

宝島だより

<http://www.toshima-sc.net/takara/>

十島村立宝島小・中学校
児童・生徒数22名
学校だより2月号
令和6年2月21日

共生社会を支える特別支援教育の推進を目指し

校長 下村 尚

私が大学で特別支援教育を専攻して学んでいるときは「特殊教育」と言っていましたが、平成19年度から学校教育法の改正により「特別支援教育」へと転換していきました。誰もが人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会「共生社会」の形成に対し学校教育は、重要な役割を果たすことが求められています。

宝島小・中学校は、十島村の中でも早くに特別支援学級が設置され、障害のある児童生徒の自立と社会参加を目指した取り組みに加え、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じ、教育的支援を行う「特別支援教育」に取り組んでいます。来年度から義務教育学校となりますが、困り感を感じている児童生徒にとって安心して学ぶことのできる環境づくりに引き続き取り組んでいきます。

私自身、これまでに勤務した学校で知的、自閉・情緒、病弱、肢体不自由と多くの障害種の児童とかかわる機会がありました。その中でも特に印象に残っている児童は轟修杜（とどろきしゅうと）君で、6年生から中学1年生になる2年間のかかわりがありました。当時勤務していた学校は、小学校と中学校が併設するフランスにある日本人学校で、特別支援学級はありませんでした。しかし、支援を必要とする児童生徒でどうしても入学したいのであれば、保護者または保護者の代わりになる人が在校中必ず付きそうという条件で入学が許可されていました。支援を必要とする人は、状況によっては通常学級の中で学習に参加することは難しい場面もたくさんあります。特別に教室を配置して一日のうち何時間かは通常学級とは別でニーズに応じた活動のできる体制を築き、2年間担当者として5名ほどの児童生徒ととともに日々学びを共にしました。この時間だけは、付き添う方は離れ、担当者と児童生徒とのかかわりの時間でした。

修杜君は言葉を発しますが、コミュニケーションとしての言葉を使うことはほとんどできませんでした。しかし、毎日のかかわりの中で気持ちを示す表現を少しずつ理解することができると、言葉を使ってコミュニケーションをとることがわずかながらできるようになりました。また、文字や数字を書くことはできましたが、これもコミュニケーションの手段として活用することはできませんでした。しかし、その活用することはできなかった文字や数字を使って、現在は修杜君らしさを表現しています。そこには修杜君にかかわる家族や周りの人の協力が大きかったと思います。

「できない」を先に考えてしまうと、できる可能性がある芽を摘んでしまっていることも考えられます。本人の努力もサポートしながら周りの協力と見守りが大切であり、修杜君が現在障害者アートに取り組む姿は共生社会の一端を感じることで。アートの島としての顔もあるここ宝島で、来年度からの宝島学園としても地域とともに特別支援教育についてともに歩んでいきたいと考えています。

現在私が愛用しているトートバッグは修杜君のデザインによるものですが、11歳の頃も学校で同じデザインを何十枚も描いていました。修杜君の作品については下記のホームページを見ていただくとよく分かります。

<https://shutotodoroki.com>（こちらはフランス語 HP ですが言語を変えることができます）

<https://www.shutooo.com>（こちらは日本語 HP です）

※ 記事内容やHPのURL掲載については了解を得ております。



勝負の3学期

中学3年生にとって、最後の学期です。私立高校の受検が1月から始まり、公立高校受験の3月まで重要な時期になります。中学校卒業後は島立ちをし、島を離れる中学3年生にとって、宝島で過ごす残り少ない日々ですが、今回のフェリー事故の影響で、受験日より早く出発し、現在まだ帰島できていない状況です。タブレットを持ち帰り、家庭での学習や、担任の先生による面接練習など、離島していても、受験に向けて全力で臨んでいることと思います。進路を決定し、9年間の義務教育の学習を修了すべく、最後まで頑張ります。皆様応援よろしく申し上げます。

後期課程進級説明会

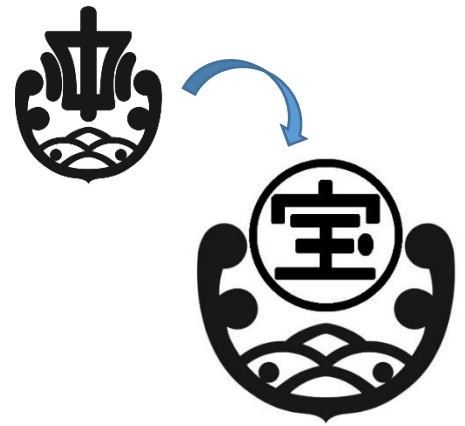
4月より義務教育学校「宝島学園」として新たなスタートを切ることになりますが、現小学6年生は後期課程7年生となる「進級」になるため、小学6年生・保護者を対象とした中学校入学説明会を今回から後期課程進級説明会として開催いたしました。内容これまでとそれほど変わらず、後期課程生徒になるため、これまで以上に学習に頑張ること、言動や服装など後輩の手本となるよう、また社会に出ていく心構えとして意識していくことなど説明を受けました。話のあと早速身なりを意識し整える様子も見られました。残りの二月を新たなスタートを意識して過ごすことは大きな強みになると思います。7名の今後に期待です。



真剣なまなざし

校章が変わります。

4月より宝島学園のスタートに合わせて、校章が変わります。デザインとしては現在使用の校章の前のデザインに戻ることになります。新しい旗も届き、4月からは掲揚台に揚げられます。お楽しみに



学校関係工事情報

令和6年度から運用開始の宝島寮は内装も終わり、最終チェックを待つ段階です。完成の際には、改めて御連絡いたします。学校の体育館は照明の交換とサッシの改修が終了し、残りは外壁の洗浄から補修・塗装を予定しています。残り一月ほどで、船の状況を見ながらの工程になりますが、業者さんの安全なお仕事に感謝しながら完成を待ちたいと思います。

3月の主な行事予定

※船の行程により変更あり

- 5・6日（火・水）公立高校入試
- 9日（土）宝島小・中学校卒業式（変更可能性あり）
- 22日（金）小学校卒業の日
- 25日（月）令和5年度修了式・離任式
- 27日（水）転出職員離島

